

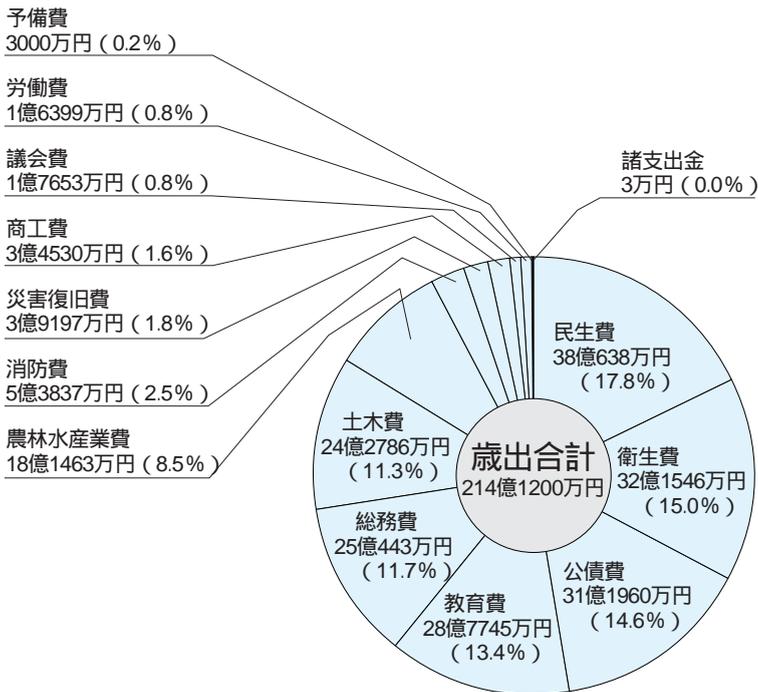
市民一人当たりに使われるお金

719,683円(一般会計分)

※平成17年2月28日現在人口29,752人で計算

民生費  127,937円	衛生費  108,076円	公債費  104,854円
教育費  96,714円	総務費  84,177円	土木費  81,603円
農林水産業費  60,992円	消防費  18,095円	災害復旧費  13,175円
商工費  11,606円	議会費  5,933円	その他  6,521円

■一般会計の歳出 (%は構成比)



定水準の行政サービスを提供するために、依存財源として国から交付される地方交付税、国県からの支出金、市債(市の借金)などを加えて市政が運営されます。

歳入で最も多いのは地方交付税で、87億5000万円と歳入全体の40・9%を占めています。次いで大きな割合を占めるのが市債で42億1770万円(歳入全体の19・7%)で、国県支出金は23億4436万円(全体の10・9%)となっています。

これらを見ると、国・県からの支出金や市債などの収入(依存財源)の割合が大きいたことが分かります。

各会計予算額

区分	予算額	
一般会計①	214億1,200万円	
特別会計	国民健康保険特別会計	28億4,310万円
	事業勸定	24億1,900万円
	建屋診療所施設勸定	5,630万円
	大屋診療所施設勸定	1億6,620万円
	大屋歯科診療所施設勸定	3,910万円
	出合診療所施設勸定	9,930万円
	大谷診療所施設勸定	6,320万円
	南谷診療所特別会計	7,400万円
	養父歯科診療所特別会計	5,910万円
	老人保健特別会計	43億8,600万円
	介護保険特別会計	27億5,300万円
	住宅新築資金等貸付事業特別会計	1,060万円
	土地取得特別会計	4,080万円
	簡易水道事業特別会計	23億5,000万円
	下水道事業特別会計	15億4,300万円
	農業集落排水事業特別会計	5億1,100万円
	集落汚水処理事業特別会計	6億3,900万円
小計②	152億960万円	
企業会計	水道事業特別会計	4億4,806万円
	索道事業特別会計	1億9,040万円
	農業共済事業特別会計	1億2,870万円
	小計③	7億6,716万円
合計(①+②+③)	373億8,876万円	

歳出

災害復旧・復興を最優先に進める

市が1年間に使うお金が歳出です。一般会計で市民一人当たり換算すると71万9683円が使われることとなります。

歳出で最も多いのは、高齢者福祉・障害者福祉などに使われる民生費の38億638万円(全体の17・8%)を占めます。次いで、ごみ収集事業や保健衛生、公立八鹿病院の建設負担金などを含む衛生費の32億1546万円、市の借金を返済する公債費が31億1960万円と続いています。

また、災害復旧事業費に3

億9197万円を計上し、そのほかの災害復旧関連事業費を合わせると4億3573万円となります。このうち4億1812万円を河川・農地・山林の各施設の復旧費に充て、災害復旧支援特別融資利子補給や災害復旧支援金など被災者の方の生活支援費として1761万円を計上しています。

歳出を性質別にみると、最も割合が多いのは普通建設事業費の45億1969万円(歳出全体の21・1%)。次いで人件費が35億546万円(16・4%)、公債費の14・6%と続いています。